

川崎市青少年の家 園庭剪定及び伐採作業 2018年4月14日(土)～15日(日) 一泊  
天候 14日曇り 15日8時まで荒天その後曇り

川崎市青少年の家から園庭の樹木伐採及び剪定作業の依頼を受けて、高森、増田(14日)、高橋健人(賛助会員)の三名で作業を行いました。青少年の家からは新任の島崎所長、関口職員にサポートいただき、14日午後には川崎市青少年の家職員も剪定した樹木の運搬作業を手伝っ



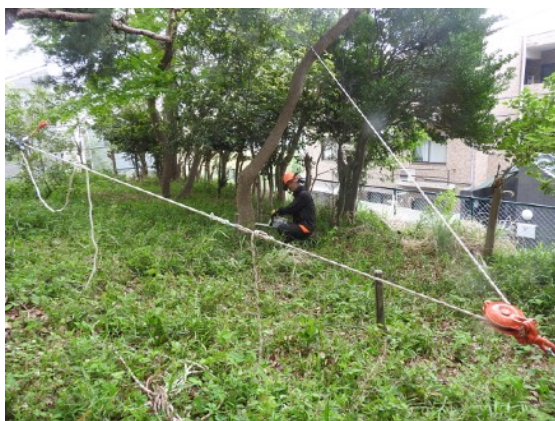
ていただいたので、助かりました。(上写真・樹木が出ている)

今回依頼を受けた内容は、樹木が道路や隣家にはみ出している  
るので、樹木の剪定と大きくなりすぎているヒマラヤスギの、  
地上から5mぐらいまでの枝を剪定、不要な木の伐採。そして、  
昨年、伐採した杉などを玉切りにして整理する作業です。高所  
作業となったヒマラヤ杉は下部にある枝を払って、長ばしごを  
かけてから下から順番に剪定作業を進める。安全のため二名で  
作業を行い、梯子はロープで樹木に固定して、安全帯を使用し  
て作業を行う。ヒマラヤスギの  
枝は直径が10cmぐらいあるので、伐採した際に作業者に落ち  
てしまうこともあるので慎重に  
落ちる方向を調整する必要がある。



使用したチェーンソーはハクスバナー236e。今日は機嫌が良い  
ようで、快調に動作してくれました。高所作業者は高橋君。





伐倒作業は「ローププラー」と滑車で樹木を伐倒方向に引っ張って、他の樹木にかからないように作業を行う、写真の右上方向が道路で、土手の高さが3mほどあり、左の樹木はそのまま倒すと、道路に落ちてしまうので慎重に作業を行う。伐倒方向に小口を入れて反対側からチェーンソーで切り込みを入れながら、同時にローププラーで引っ張るとゆっくり倒れる。樹高9mの中型。使用したチェーンソーはSTEAL261チェーン長50cm、馬力もあり怖いほど切れます。(危険)



写真・下左端を見ると密集していた木を剪定したので、北西側の樹木にも隙間が出来て心地よい風が抜けていくようになりました。剪定した枝も太い物は6cm以上あり(写真・下右端)、樹木の間から引っ張り出すの力がいらいます。北西側プールの裏側から、道路までの剪定した樹木を(写真・下真ん中)園庭に引っ張り出してから、太い枝は30cmくらいの薪サイズに切断、枝の先に残った葉っぱは一カ所に山積みして乾



燥させます。30cmほどの薪にした枝は南側森の中で乾燥させて1年後には使用できるでしょう。

15日は前線の通過で、夜半から8時ぐらいまで春の嵐でした。園庭もファイヤーサークルが激しい雨でプールになっていました。今日の作業は丸太の玉切りと、剪定した樹木の太い枝を薪にする作業。ここで活躍したのがSTEAL MS193(写真右下)軽量で馬力もあり細かい作業には威力を発揮します。昨年伐倒した杉の木や倒木なども処理したので、森の中はきれいになりました。子どもたちが遊んでも安全です。二日間の作業でしたが皆様の協力で、予想



以上の成果が上げられたと感じています。林業作業用の機械や用具も活躍してくれました。

樹木の間にも光が差し込み、風が抜けるようになり園庭は心地よい場所になりました、感謝。